

様式A (1)

令和8年度 こども家庭科学研究費
こども家庭行政推進調査事業費 補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

研究計画書 (新規申請用)

令和8年 ____月 ____日

こども家庭庁長官 殿

研究課題名	(日本語表記)	
	(英語表記)	
公募番号		
研究種目等	<input type="checkbox"/> 基礎研究 <input type="checkbox"/> 応用研究 <input type="checkbox"/> 開発研究	
当該年度の 研究事業 予定期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (3) 年計画の1年目	
分 野		
研究の内容	【例示省略】	
キーワード		
研究代表者 氏名	(フリガナ)	コドモ タロウ
	(漢字等)	こども 太郎
	(英語表記)	Taro Kodomo
所属研究機関	(フリガナ)	
	(漢字等)	
	(英語表記)	【例示省略】
住 所	〒	
電話番号		
E-mail		
部 署		
職 名		

経理事務 担当者氏名		経理担当部署 名・連絡先等	部署名： 電話番号： E-mail アドレス：
研究分担者 氏名	(フリガナ)	ブンタン ジロウ	
	(漢字等)	分担 次郎	
	(英語表記)	Jiro Buntan	
所属研究機関	(フリガナ)		
	(漢字等)	【例示省略】	
	(英語表記)		
住 所	〒		
電話番号			
E-mail			
部 署			
職 名			
経理事務 担当者氏名		経理担当部署 名・連絡先等	部署名： 電話番号： E-mail アドレス：

各年度別経費内訳

(単位：千円)

直接 経 費	大項目	中項目	年度	年度	年度	計	
	1. 物品費	設備備品費				0	
		(主な使途) 例：PCなど					
		消耗品費				0	
		(主な使途) 例：試薬など					
	2. 旅費	旅費				0	
		(主な使途) 例：研究班会議、海外渡航（アメリカ）など					
	3. 人件費・ 謝金	人件費				0	
		(主な使途) 例：資料整理など					
		謝金				0	
	4. その他	(主な使途) 例：研究協力者謝金など					
		委託費				0	
		(主な使途) 例：アンケート調査、システム開発など					
小 計		0	0	0	0	0	
間接経費（直接経費の30%以内）						0	
合 計		0	0	0	0	0	

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部署 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	年度研究経費 (千円)	間接経費の 要否 (研究費を 自ら管理す る者のみ)	エフオ ート (%)
				研究費を自ら 管理する者 は○をつける		
研究代表者			【例示省略】	【例示省略】	5,000 ○	要（2,400 千円、 年度研究経 費の30%）
研究分担者			【例示省略】	【例示省略】	3,000	否
計 00名			研究経費合計	8,000	2,400	

(応募内容ファイル)

1 研究目的

【研究目的】

研究の目的、必要性及び特色・独創的な点について、適宜文献を引用しつつ、1,000字以内で具体的かつ明確に記入すること。なお、記入にあたっては以下の点に留意すること。

- ・当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画と、当該研究計画の関係を明確にすること。
- ・国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを明確にすること。
- ・研究期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を明確にしたうえで記入すること。

【期待される効果】

こども家庭行政の施策等への活用の可能性（施策への直接反映の可能性、政策形成の過程等における参考として間接的に活用される可能性、間接的な波及効果等（民間での利活用（論文引用等）、技術水準の向上、他の政策上有意な研究への発展性など）が期待できるか）を中心に600字以内で記入すること。

なお、記入にあたっては、当該研究がどのようなこども家庭行政の課題に対し、どのように貢献するのか等について、その具体的な内容や例を極力明確にすることを留意すること。

【流れ図】

研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

【研究目的】※1,000字以内で具体的かつ明確に記入すること。

<研究全体の目的>

【例示省略】

<各年度の目標>（単年度の研究の場合は削除すること）

【例示省略】

【期待される効果】※600字以内で記入すること。

【例示省略】

【流れ図】

2 研究計画・方法

研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を1,600字程度で記入すること。

なお、記入にあたっては以下の点に留意すること。

- ・当該年度の研究計画・方法を明確にすること（複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入すること）。
- ・研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確にすること。特に、量的・統計的調査を行う場合は、疫学、統計調査の専門家の関与について記入すること（別紙2にも氏名等を記入すること）。
- ・複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と年次計画との関係がわかるように記入すること。
- ・本研究を実施するために使用する研究施設・研究資料・研究フィールドの確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記入すること。
- ・臨床研究においては、基本デザイン、目標症例数及び評価方法等を明確に記入すること。
- ・アンケート等による量的・統計的な調査を行う場合は、質的調査ではなく多数を対象とした量的・統計的な調査とする理由、調査対象の属性・要件、調査票の配布数と期待回収数（サンプルサイズ）の決定方法、核心的な質問項目の具体的な質問内容を記入すること。
- ・海外調査（情報収集を主な目的とした学会参加を含む）を行う場合は、既存資料やインターネットで明らかになっていること、明らかになっておらず現地を訪問して明らかになること、調査対象の機関名等と選定理由、調査対象とのこれまでのコミュニケーションの状況について記入すること。

＜研究全体の計画・方法＞

【例示省略】

＜各年度の計画・方法＞（単年度の研究の場合は削除すること）

【例示省略】

3 研究業績

- (1) これまでに発表した研究業績について、著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後のページ）、特許権等知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）、研究課題に関連した実務活動について記載すること。
- (2) 発表論文については、研究代表者及び研究分担者ごとに、それぞれ学術誌等に発表したものの中、主なもの（過去3年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。また、この研究に直接関連した論文・著書については、著者氏名の前に「○」を付すこと。なお、論文については査読があるものに限る。

【例示省略】

4 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費、(3)その他の活動について、次の点に留意し記入すること。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入すること。

(1)研究代表者が、こども家庭庁から交付される研究資金（公益法人等から配分されるものを含む。）、他府省の研究資金、独立行政法人から交付される研究資金、公益法人等から交付される研究資金等への研究費の申請を行おうとしている場合について記入すること。

(2)「当該年度の研究経費」欄には、当該年度に必要な直接経費と間接経費の総額を記入すること。

(3)「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入すること。

(4)「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入すること。

(5)※のカッコ内には、研究期間全体の直接経費の総額を記入すること。

(1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	当該年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】 こども家庭科学研究費 補助金（成育疾患克服 等次世代育成基盤研究 事業） (R8 ~R10)	○○の研究	代表	3,000 (9,000)	20	(総額 9,000 千円) ※
			()		(総額 千円) ※

(2) 受入予定の研究費

資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名）	研究課題名 (研究代表者氏名)	役割(代表・分担の別)	当該年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフ オ ー ト (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
			()		(総額 千円) ※
			()		(総額 千円) ※

(3) その他の活動 エフオート： %

5 これまでに受けた研究費

本欄には、研究代表者が過去3年間に受けた研究費（大学、研究開発法人等において、省庁等の公募により競争的に獲得される経費のうち、研究に係るもの。従来、競争的資金として整理されてきたものを含む。なお、現在受けている研究費も含む。）のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記入すること。

- (1) それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入すること。
- (2) 当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記入すること。
- (3) 事業数が多い場合は、主要な事業について記入すること。

資金制度名：こども家庭科学研究費補助金（○○事業）

期間（年度）：令和5年度～令和7年度

研究課題名：○○に関する研究

研究代表者又は研究分担者の別：研究代表者

研究経費（直接経費）：6,000千円

別紙1

(研究実施における体制について)

	氏名	研究承諾の有無	事務委任の有無	研究倫理教育の受講の有無	COI (利益相反) 委員会への申会の有無	COI 委員会への申出の有無	DMP 作成の有無	コア重要技術等が生じる見込の有無
研究代表者	○○ ○○	有	有	有	有	有	有	無
研究分担者	○○ ○○	有	有	有	有	有	—	
							—	
							—	
							—	
							—	

コア重要技術等が生じる見込がある場合

○該当するコア重要技術等の具体的な内容

—

○該当するコア重要技術等の流出を防止するために講じる措置の具体的な内容

—

別紙2

(倫理面への配慮について)

- ・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。

遵守すべき研究に関係する指針等

（研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。））。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

遺伝子治療等臨床研究に関する指針

その他の指針等（指針等の名称： ）

疫学・生物統計学の専門家の関与の有無	有（氏名： ） 所属機関： 無・該当なし
臨床研究登録予定の有無	有・無・該当なし